

浙江友好交流員 山田慶 レポート 2月

いよいよ交流員の活動も残りわずかとなりました。交流員のレポートも今回で最後となるので、いつもとは少し違った方面について取り上げたいと思います。

中国では、日本の製品、特に家電や化粧品がとても人気です。それに関しては、お店に寄ってみるとすぐに分かります。ほとんどのお店に日本でも売られているものと同じ物が売られています。しかし、結構な確率で偽物に出会うこともあります(明らかに日本語の文字や文法がおかしいために偽物と判断できる。本物の場合は日本語の上に中国語の説明が貼られていることが多い)。ですが、偽物が大量に出回るといっても人気がある証拠だと思います。

このような日本の製品以外にも中国ではある国が非常に高い人気を誇っています。それは韓国です。中国の街を少し歩くだけで、韓国のファッション、音楽、料理を多く見かけることができます。大学のすぐ近くにも韓国料理のお店が3軒も並んでいます。音楽に関しては、日本を謳っているお店ですら韓国の曲を流していることがあるほどです。さらに、韓国の化粧品も日本のそれと同様に凄く人気があります。ネット上では、韓国のドラマのほとんどが閲覧可能なほど高い人気があります。街を歩いていて一番驚いたことは、整形をしている女性がとても沢山いたことです。私の目には整形をしている女性はほとんど同じ顔にしか見えませんでした。韓国の女優に似せているように感じたため整形も韓国から受けた影響なのではないかと思いました。他にも、留学生の韓国人の占める割合はとても高く、1クラスに4~5人ほど韓国人が占めています。これは、学校として韓国人の受け入れに積極的だからなのではないかと感じました。

このように、中国では韓国と日本の文化や製品が好まれ、流行しているように見受けられました。さらに、大学の中では、韓国語や日本語を勉強している学生が多く、日本人が思っているよりも中国の方々は対外的で、日本のことも好きで、少なくとも悪い印象で日本のことを見ている人は少ないように感じました。しかし、場所によっては、日本人に対して良い印象を持たない方が多くいる場所もあるので気をつけてください。やはりこの3つの国は、距離的にも近いという理由からこれ程までお互いに文化を共有しているのでしょうか。私も半年過ごただけではなぜこれ程までに韓国や日本が好まれているのか理由までは分かりませんが、どの国もそれぞれ魅力があって面白い国だということがこの半年間中国で暮らしてとても感じました。

最後に、先日お世話になった中国政府の方々に送別会を開いて頂きました。その際、どれだけ中国語が上手くなったかを図るため、名前の由来を含めた自己紹介を皆さんの前でしました。私の名前はとても分かりやすい名前だったので説明は簡単だったのですが、その後少し笑いを誘うような事を話し、それが結構いい手ごたえがあったのがとても嬉しかったのと、部長さんにも中国語が上手くなったと褒められ、半年の締めにとってもいい経験ができました。この半年で中国の事が更に好きになりました。このレポートを見てくださった皆さんが、「これを見て中国に行きたくなった」「中国に興味が出た」と少しでも思ってもらえれば、私にとってもそれはとても嬉しいことです。私は、初めての海外が中国でした。初めは

浙江友好交流員 山田慶
レポート 2月

少し不安もありましたが、今となっては中国に来てとてもよかったと感じています。皆さんも是非一度中国に旅行にいらしてみてください。